

大学等拠点施設整備基本設計業務に係る公募型プロポーザル 審査結果について

四日市市では、JR 四日市駅前において、地域産業界で活躍できる人材を育成するとともに、研究を通じたイノベーションの創出により、地域産業の持続的な発展を目指すことを目的に、本市が設置する公立大学等の整備を進めています。

本拠点施設の基本設計者においては、大学、商業機能等の機能配置に加え、中心市街地再開発プロジェクトが連携したまちなかの回遊性向上や賑わい創出につながる空間づくりの検討など、豊富な経験と高度な能力を有する事業者であることが求められます。

加えて、本拠点施設については、都市計画決定及び都市計画事業認可の取得を予定しており、基本設計を進めながら、関係機関との協議・調整を行う必要があります。

また、工事費の上昇が著しい現状を鑑み、コスト変動要因として注目すべきポイントや工事費を抑制する為の工夫など、基本設計段階におけるコストマネジメントが重要となります。

このため、単に技術的・作業的な支援に留まらず、四日市市に適した「大学等拠点施設整備基本設計業務」を委託するのに最も適した者を最優秀者として、プロポーザルにて選定しました。

1. 審査結果

最優秀者： 株式会社N T Tファシリティーズ 東海支店

次 点 者： 株式会社日建設計 名古屋オフィス

2. 審査委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

委員長	恒川 和久	名古屋大学 教授
委 員	上野 武	千葉大学 名誉教授 一般社団法人キャンパスとまち計画研究所 代表理事
委 員	加藤 義人	名古屋都市センター特任アドバイザー 岐阜大学 客員教授
委 員	近藤 早映	三重大学 准教授 東京大学 准教授
委 員	川口 純史	四日市市 政策推進部長
委 員	渡辺 久晃	四日市市 商工農水部長
委 員	嶋田 康二	四日市市 都市整備部 計画担当部長

3. 審査日時

一次審査：令和８年５月１８日（月）

二次審査：令和８年８月 ５日（水）

4. 審査経緯

- （１） 令和８年４月１４日にプロポーザル公告を行いました。
- （２） 令和８年５月１１日までの参加表明書等の受付期間に、２者から参加申込書類を受理しました。
- （３） 一次審査として、２者の参加資格を確認し、応募者、配置予定技術者の能力・実績を審査要領に基づいて評価した結果、全２者を一次審査通過者としました。
- （４） ２者に技術提案書等の提出要請を行い、令和８年７月１７日までの技術提案書等受付期間に、２者から技術提案書等を受理しました。
※技術提案書提出順
 - ・ 株式会社ＮＴＴファシリティーズ 東海支店
 - ・ 株式会社日建設計 名古屋オフィス
- （５） 二次審査として、一次審査通過者２者（全て匿名）によるプレゼンテーションと質疑応答を実施し、技術提案内容や質疑への対応等について審査並びに審議を実施し、技術提案書の評価を行いました。
- （６） その集計を行った結果、技術提案書の評価に係る得点と参考見積書に係る得点を合計した総合計点が最も高かった株式会社ＮＴＴファシリティーズ 東海支店を本件業務委託の最優秀者、次に総合計点が高かった株式会社日建設計 名古屋オフィスを次点者とするについて、審査委員会において確認を行い、各候補者の選定に至りました。

5. 審査基準

本件プロポーザルの審査にあたっては、審査委員会が別に定めた「大学等拠点施設整備基本設計業務に係る公募型プロポーザル審査要領及び評価基準」に従って、厳正な審査を実施しました。

本審査基準については、次のとおり示します。

■一次審査

評価項目	審査基準		配点	
			小計	
応募者の実績 (会社)	設計業務の実績・受賞実績		28	28
配置予定技術者の実績 (担当者)	管理技術者	経験年数	4	23
		受賞実績	3	
		設計業務の実績	16	
	建築意匠担当技術者	経験年数	4	21
		受賞実績	3	
		設計業務の実績	14	
	建築構造担当技術者	経験年数	4	12
		設計業務の実績	8	
	電気設備担当技術者	経験年数	4	12
		設計業務の実績	8	
	機械設備担当技術者	経験年数	4	12
		設計業務の実績	8	
	積算担当技術者	経験年数	3	6
		設計業務の実績	3	
合 計				114

■二次審査

評価項目		審査基準（キーワード）	配点
コンセプト		四日市市大学基本計画に記載の方針を踏まえた本提案全体に係るコンセプトの提案 ① まちに開く 中央通り公園から港側への視線の抜けや、周辺の街との連続性に配慮した配置計画 ② まちの機能と融合 新図書館との連携、大学施設を一般市民に開放する等、まちと大学での機能融合 ③ 多様な人々の交流拠点 学生間の交流、地元企業との連携、市民の交流等、街の様々な人の活動拠点となる空間づくり	14
業務 実施 方針	業務の取組方針	① 業務の内容や本事業の背景、課題などの理解度 ② 発注者を支援する姿勢、業務への工夫、配慮	6
	合意形成のプロセス	① 発注者との合意形成プロセスの工夫や考え方 ② 図面等作成等の作業スケジュール管理の考え方	6

テーマ別提案	【テーマ１】 まちづくりと一体となった空間づくり	① 大学と中心市街地再開発プロジェクトが連携したまちなかの回遊性向上や賑わい創出につながる機能配置と空間づくり ② 大学、駅、商業施設が一体となった街の様々な人の活動拠点となる誰もが利用しやすい空間づくり ③ コンセプト及び【テーマ１】①、②を踏まえた意匠デザインの考え方	24
	【テーマ２】 新しい教育研究を実現する環境の整備	① 大学施設を開放した市民に開かれた学習環境づくり ② 学びあいやコミュニケーションを容易にする多目的で可変的な協働スペースを持った空間づくり ③ 企業との高度な共同研究を実現するセキュリティを重視した空間づくり ④ 国立大学、公立大学の学生及び教員等研究者の相互交流など、大学間連携を図れる空間づくり	24
	【テーマ３】 脱炭素社会の実現に向けた環境にやさしい施設計画と自然災害への対応	① 大雨時に浸水被害が想定される立地場所の公共施設として、四日市市雨水総合治水対策を踏まえた対応 ② 災害時に一時緊急避難場所や津波避難ビルとして活用や各種ハザードマップ等の被害想定を踏まえた建物の安全性、耐震性の考え方 ③ 2050年にゼロカーボンシティを実現するため、省エネルギー化を図りつつ、時代の変化に対応できる脱炭素技術を備えた施設計画 ④ ライフサイクルコスト低減の考え方	12
	【テーマ４】 建設コスト及び工程の管理	① 提案する計画が、四日市市大学基本計画に示す整備費用に見合った提案であることをどのように検証しているのかについて、工事費の上昇が著しい現状を鑑み、設計業務を進めていく上で、コスト変動要因となり得るリスクをどのように把握して管理し、目標とする整備費用の範囲内で設計をまとめているのかについて、その考え方及び手法 ② 令和14年度の開学を見据えた構造種別の選定や施工性を考慮した工程管理の考え方	12
参考見積書			2
合計			100

6. 審査講評

本プロポーザルの二次審査は、学識者及び本市職員の合計7名で構成された大学等拠点施設整備基本設計業務委託プロポーザル審査委員会において厳正かつ公正に行いました。

審査経過を振り返りますと、参加表明書は2者から提出され、いずれも本事業と同種又は類似の設計実績を複数有する者からの応募となりました。

技術提案においては、コンセプト、業務実施方針に加え、以下に示す4つの特定テーマについて提案を求めました。

【特定テーマ】

- ① まちづくりと一体となった空間づくり
- ② 新しい教育研究を実現する環境の整備
- ③ 脱炭素社会の実現に向けた環境にやさしい施設計画と自然災害への対応
- ④ 建設コスト及び工程の管理

各応募者からは、各テーマの意図や敷地状況、施設整備方針を十分に踏まえたうえで、各者が有する専門的知見やこれまでの設計実績により培ったノウハウ等を組み合わせることにより、それぞれの特徴が盛り込まれた提案がなされました。

なかでも、最優秀者として選定された「株式会社NTTファシリティーズ 東海支店」については、革新性や独創性に優れた発想と、それを技術的に支える高い実績が評価されました。計画面では、フロアを多段状に重ねる構成や、段状テラスによる賑わい空間の創出は、これまでにないインパクトがあり、四日市市の新たなランドマークになり得ると評価されました。全体として、説明力や総合的な設計力に優れた提案であることから、最優秀者として選定するにふさわしいと判断しました。

また、次点者である「株式会社日建設計 名古屋オフィス」については、基本計画の内容を精緻に理解し、令和14年度の確実な開学を守るためのリスクマネジメントが評価されました。一方で、革新性や独創性に欠ける点があり、総合評価としては次点にとどまりました。

7. 基本設計実施にあたっての付帯意見

今回の提案内容において、以下のとおり付帯意見を付します。選定された事業者におかれましては、これらの付帯意見に沿った柔軟な対応を検討してください。

- ・ 本事業は鉄道事業者など、複数の関係者との調整が必要な事業であるため、施設規模や敷地条件、駅前広場の配置計画、工期、事業費について、発注者および鉄道事業者などの関係者が求める内容に応え、合意形成を図ること。
- ・ 基本設計の過程において生じる予見決定（敷地条件、諸室の面積や機能構成、事業スキームなど）に伴う変更事項について、設計に確実かつ柔軟に反映すること。

8. 最後に

本プロポーザルへの参加者が5者以内であったことから、上記2者ともに一次審査及び二次審査を実施し、各審査における委員の評価及び得点を確認し、最優秀者及び次点者の選定に至りました。

7人の委員におかれましては、それぞれの専門分野から、これまでの経験と知識を結集して審査を行い、その結果、大学拠点施設整備において重大な役割を担うにふさわしい基本設計業務の最優秀者を選定することができたと考えています。

今後、本業務により最良な基本設計がまとめられ、事業が進んでいくこととなりますが、四日市市の中心市街地にふさわしい「大学等拠点施設整備」が成功裏に無事完了されることを心より祈念申し上げます。

最後に、本プロポーザルに対して真摯に取り組まれ、貴重な時間と労力を費やし御参加いただいた提案者の皆様におかれましては、2者ともに四日市市の未来への貢献意欲を高く感じる提案であ

った事に、衷心より敬意を表します。あわせて、審査に多大なるご協力とご尽力をいただいた審査委員各位並びに関係者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げ、審査講評といたします。

令和8年8月20日

大学等拠点施設整備基本設計業務委託プロポーザル審査委員会

委員長 恒川 和久